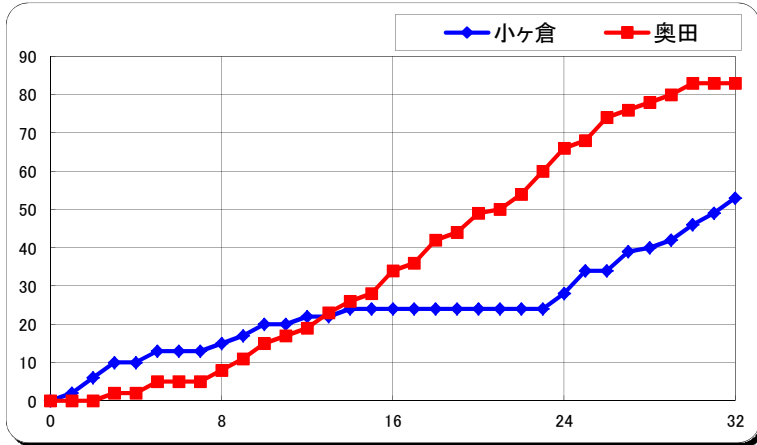




【得点経過】



大会名	東日本大震災復興支援平成24年度全国中学校体育大会第42回全国中学校バスケットボール大会																
会場	春日部市総合体育館																
日時	平成24年8月22日(水) 12:10																
コート	Eコート	第3試合															
カテゴリ	男子	予選Aリーグ															
主審	伊橋 隆浩 (千葉県)																
副審	分部 勝規 (山梨県)																
Team A		Team B															
小ヶ倉 (長崎県)	53	83 奥田 (富山県)															
	<table border="1"> <tr><td>15</td><td>1st</td><td>8</td></tr> <tr><td>9</td><td>2nd</td><td>26</td></tr> <tr><td>4</td><td>3rd</td><td>32</td></tr> <tr><td>25</td><td>4th</td><td>17</td></tr> <tr><td colspan="3">OT</td></tr> </table>	15	1st	8	9	2nd	26	4	3rd	32	25	4th	17	OT			
15	1st	8															
9	2nd	26															
4	3rd	32															
25	4th	17															
OT																	

【BOXスコア】

Team A		小ヶ倉						
番号	選手名前	出場	得点	3P	2P	FT	反則	
4	森山 湧斗	×	11	1	4	0	2	
5	松崎 颯馬	×	2	0	1	0	5	
6	谷口 譲	×	0	0	0	0	2	
7	福井 斗偉	×	14	2	4	0	1	
8	古口 真太	✓	3	1	0	0	1	
9	桑原 一輝	×	11	0	4	3	2	
10	岩崎 俊弥	✓	2	0	1	0	2	
11	須藤 寛太	✓	7	1	1	2	1	
12	福井 経士朗	✓	1	0	0	1	0	
13	早野 兼太郎	✓	2	0	1	0	0	
14	谷川 海飛	✓	0	0	0	0	0	
15	吉田 耕祐	✓	0	0	0	0	0	
16	東 大樹	✓	0	0	0	0	0	
17	道脇 勇樹	✓	0	0	0	0	0	
18	長松 歩	✓	0	0	0	0	0	
監督	黒田 ひとみ						0	
コーチ	三根 正美						0	
合計			53	5	16	6	16	

Team B		奥田						
番号	選手名前	出場	得点	3P	2P	FT	反則	
4	長友 陸矢	×	5	1	1	0	0	
5	笹倉 怜寿	×	19	0	9	1	4	
6	八村 塁	×	11	0	4	3	2	
7	畑 知輝	×	7	1	1	2	2	
8	横山 詢	✓	0	0	0	0	1	
9	川村 悠登	✓	0	0	0	0	2	
10	小柴 匡暁	✓	0	0	0	0	0	
11	杉山 佑季	✓	0	0	0	0	0	
12	飴谷 由毅	✓	0	0	0	0	1	
13	柳瀬 亮	✓	9	1	3	0	2	
14	高橋 龍弥	✓	6	0	2	2	3	
15	西頭 飛翔	×	10	0	5	0	0	
16	吉田 拓生	✓	0	0	0	0	0	
17	岡山 翔太郎	✓	16	1	6	1	1	
18	奥野 亮	✓	0	0	0	0	0	
監督	西田 直彦						0	
コーチ	坂本 穰治						0	
合計			83	4	31	9	18	

【戦評】

予選Aリーグ、小ヶ倉(長崎県)と奥田(富山県)の対戦。両チーム、マンツーマンDefでスタート。奥田は、長身の#6にボールを集めて攻める。小ヶ倉は、奥田の#6へのパスをインターセプトし速攻で点数を重ねる。小ヶ倉は、#8の3Pで勢いをつけるのに対して、奥田#13も3Pで応戦。1Q、15-8で小ヶ倉がリードで終了。2Q、立ち上がり小ヶ倉#9、#10が得点を重ねるのに対し、奥田は#4、#5のジャンプシュートや3Pで応戦する。奥田が、Defをオールコート2-1-2ゾーンプレスからのハーフコートマンツーマンディフェンスでリズムを作り、連続得点を重ね、逆転に成功する。小ヶ倉も#7の3Pで応戦するが、2Q、24-34で前半終了。

3Q、奥田の#5、#6の連続得点で始まり、小ヶ倉はタイムアウトを取る。小ヶ倉は、Defを2-1-2ゾーンに変え、果敢にドライブで攻めるが得点に結びつかず、奥田はインターセプトからの速攻や#7の3Pで差を広げる。小ヶ倉は、#9のフリースローが入ると2-2-1ゾーンプレスDefを仕掛けて応戦するが、奥田#15、#17が得点を重ねる。28-66で3Q終了。4Q、小ヶ倉の#7、#11の連続3Pで始まり、奥田は、速攻で#5、#14が得点する。小ヶ倉は、メンバーを変え、ハーフコートマンツーマンに変更し、#4を中心に得点を重ねるが、試合終了。53-83で奥田が勝利した。

【戦評記入者】

眞通 宏太郎